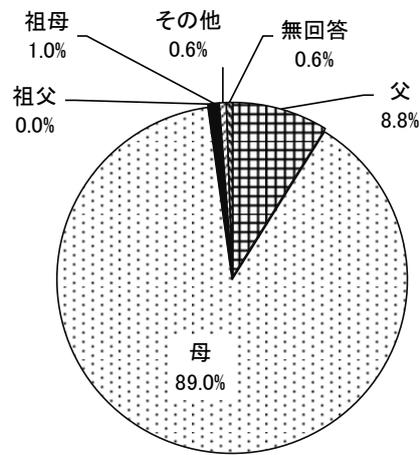


〔中学・高校生の保護者〕

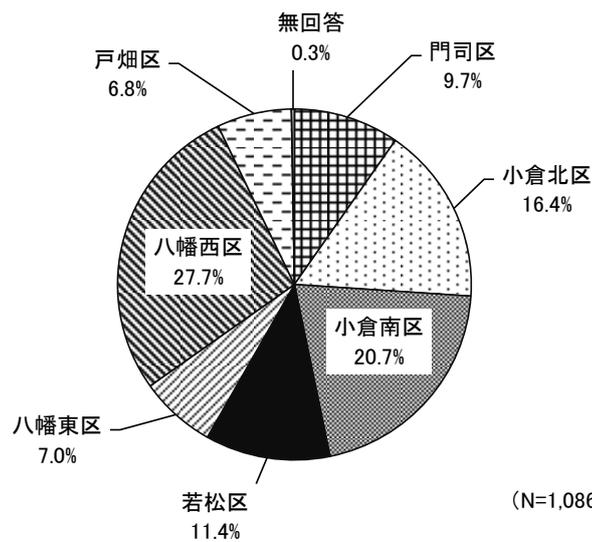
1. 子どもと家族の状況等

(1) 調査票の回答者（問1）



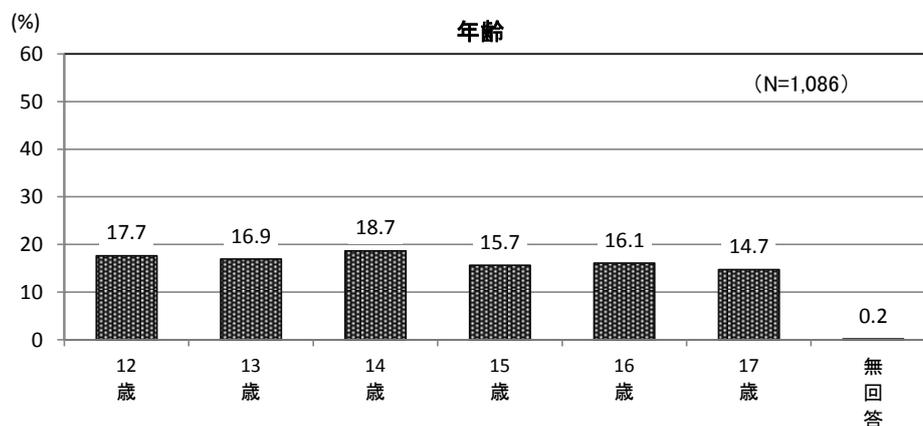
(N=1,086)

(2) 居住区（問2）



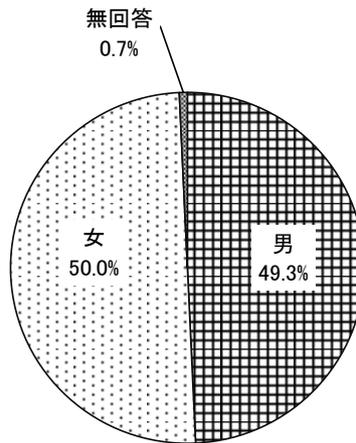
(N=1,086)

(3) 子どもの年齢（問3）



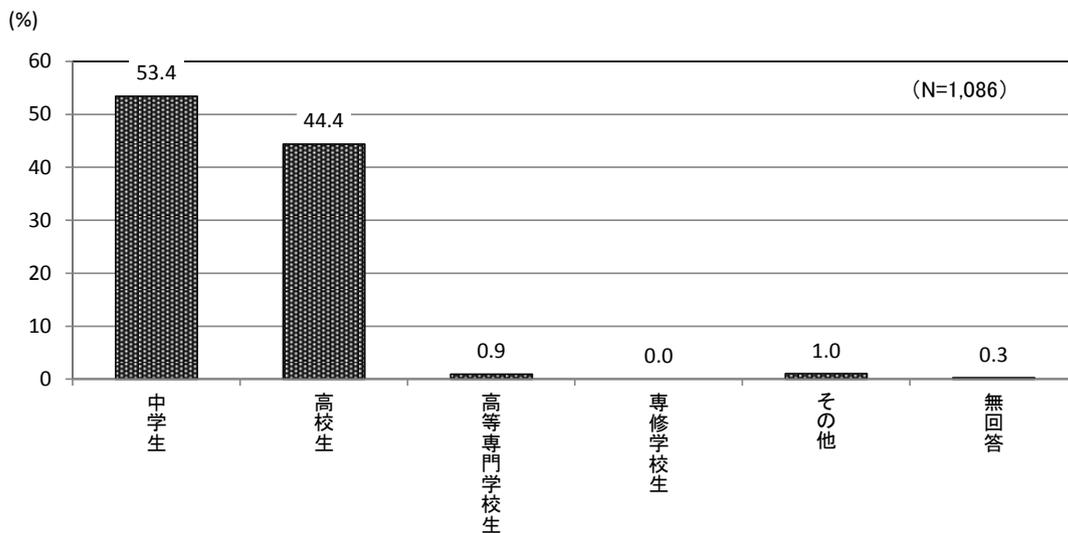
* 平成25年4月1日現在

(4) 子どもの性別 (問 3)

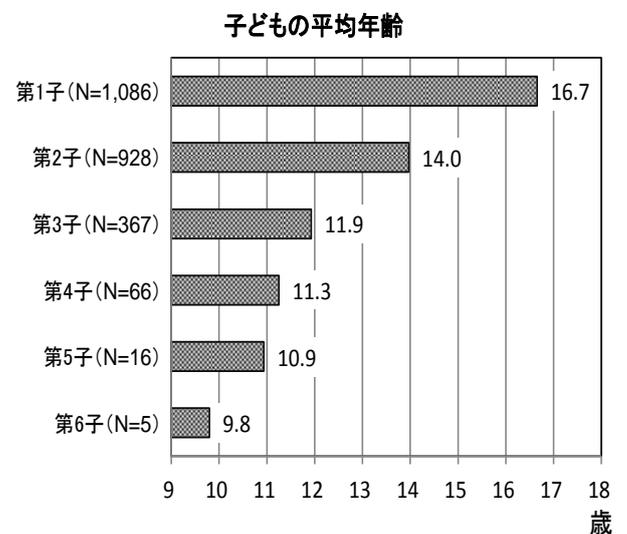
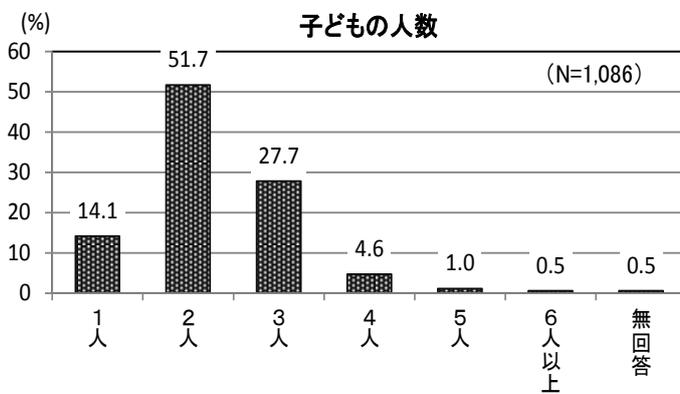


(N=1,086)

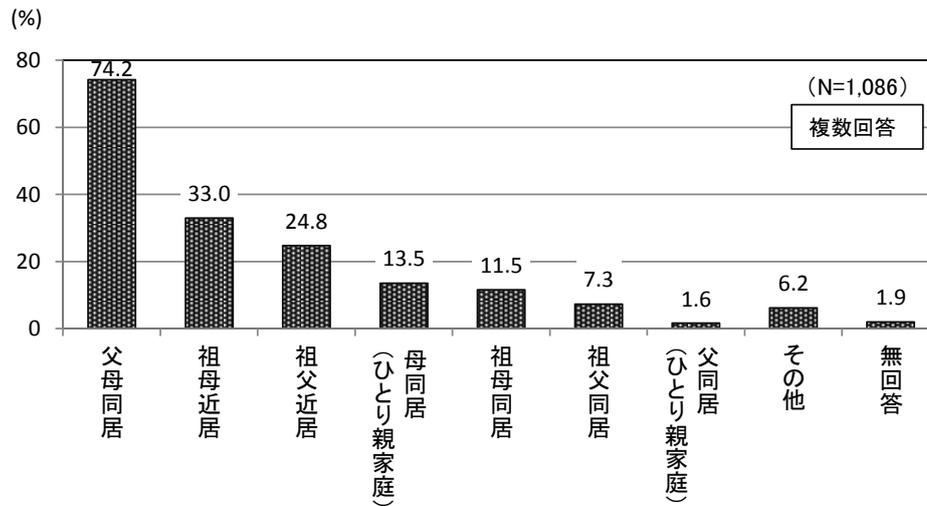
(5) 子どもの状況 (問 4)



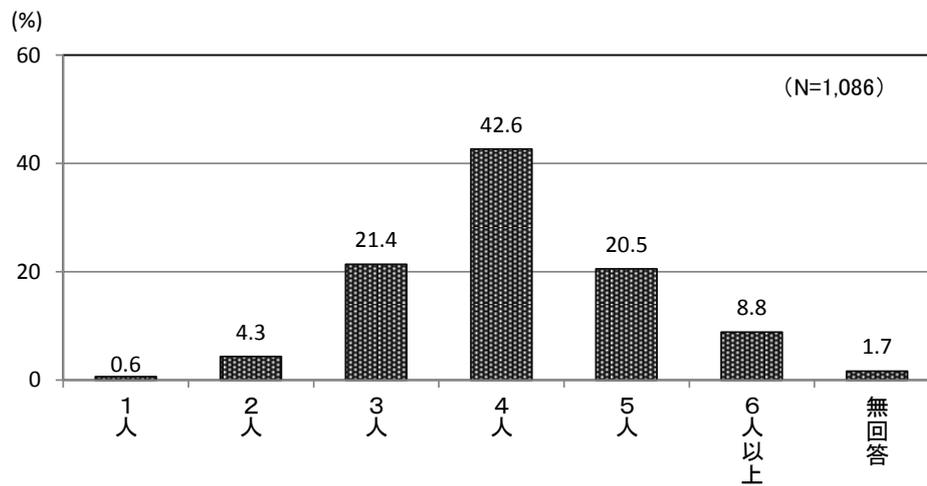
(6) 子どもの人数と平均年齢 (問 5)



(7) 子どもとの同居（近居）の状況（問6）



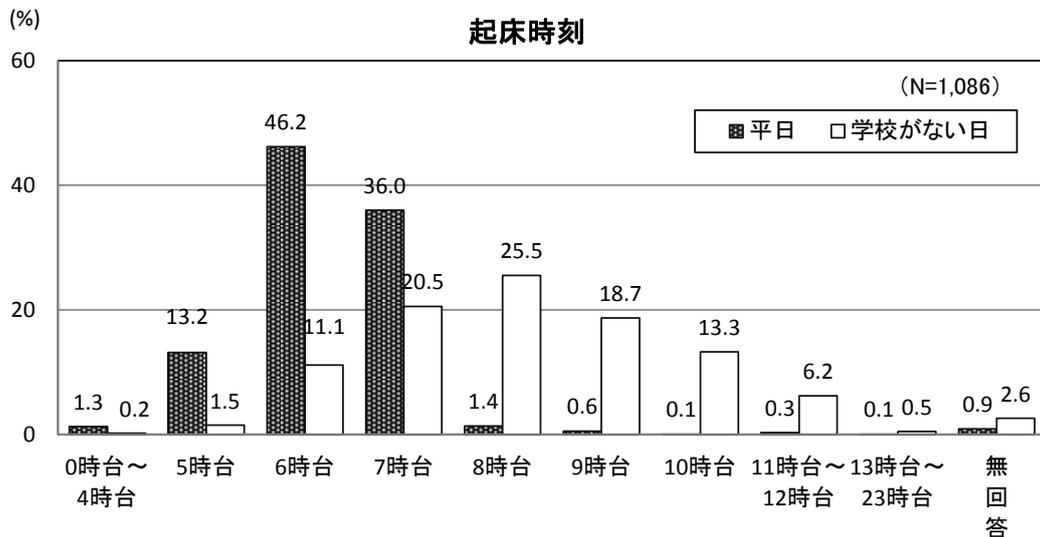
(8) 同居している家族の人数（問6）



2. 子どもの生活状況

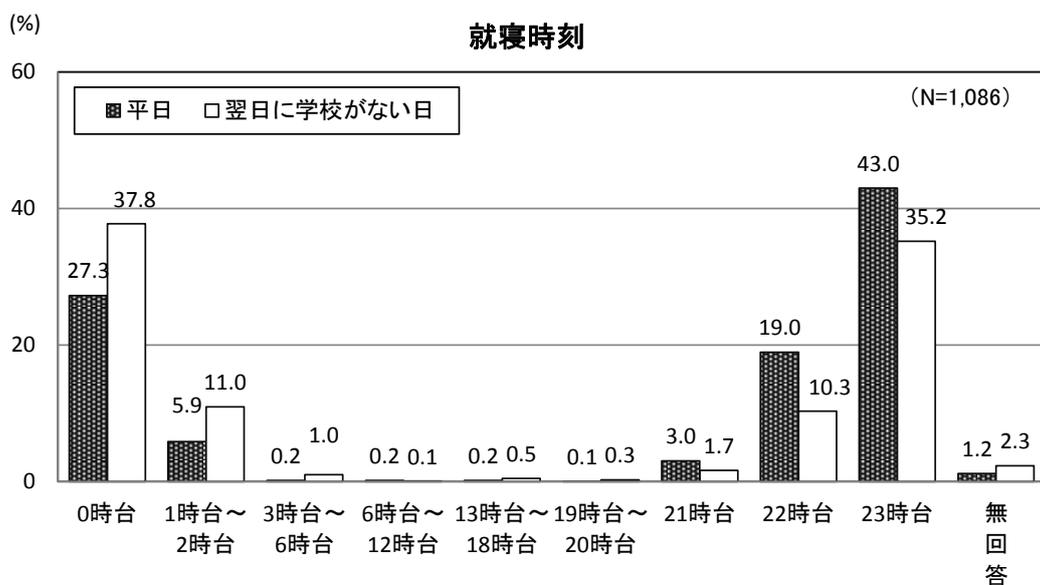
(9) 子どもの起床時刻（問7）

平日の子どもの起床時刻は、「6時台」が46.2%で最も高く、次いで「7時台」36.0%、「5時台」13.2%となっている。学校がない日は、「8時台」が25.5%で最も高く、次いで「7時台」20.5%、「9時台」18.7%となっている。



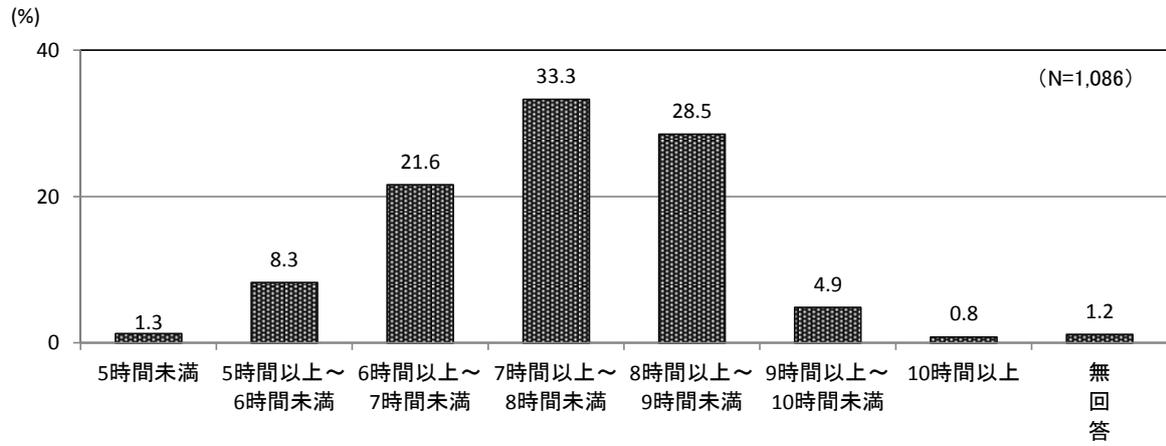
(10) 子どもの就寝時刻（問7）

平日の子どもの就寝時刻は、「23時台」が43.0%で最も高く、次いで「0時台」27.3%、「22時台」19.0%となっている。翌日に学校がない日は、「0時台」が37.8%で最も高く、次いで「23時台」35.2%、「1時台～2時台」11.0%となっている。



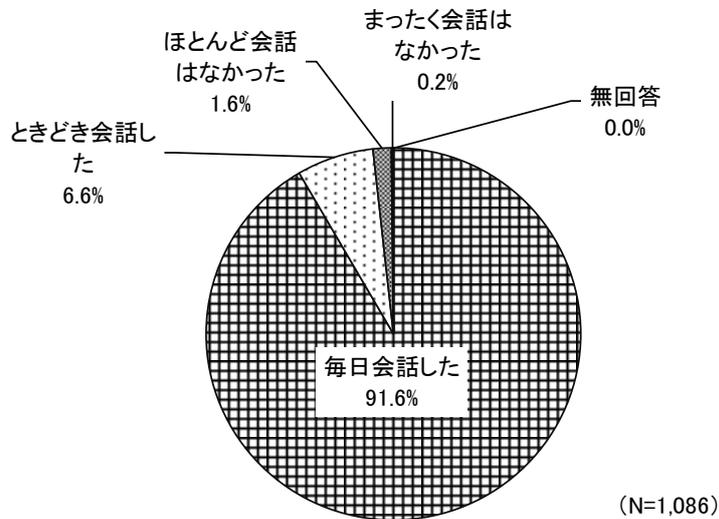
(11) 子どもの平均睡眠時間（問7）

子どもの平均睡眠時間は、「7時間以上～8時間未満」が33.3%で最も高く、次いで「8時間以上～9時間未満」28.5%、「6時間以上～7時間未満」21.6%となっている。



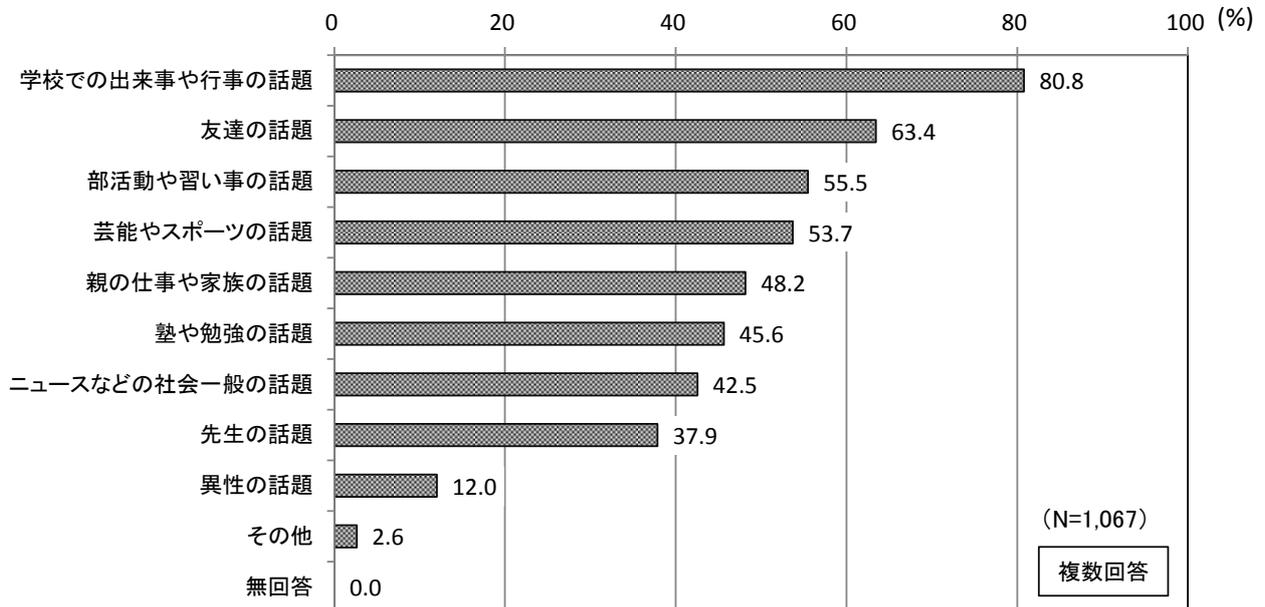
(12) 家族との会話 (問 8)

先週、子どもが家族とどの程度会話したか尋ねたところ、家族との会話は、「毎日会話した」が91.6%で最も高く、次いで「ときどき会話した」6.6%、「ほとんど会話はなかった」1.6%となっている。



(13) 家族との会話での話題 (問 8-1)

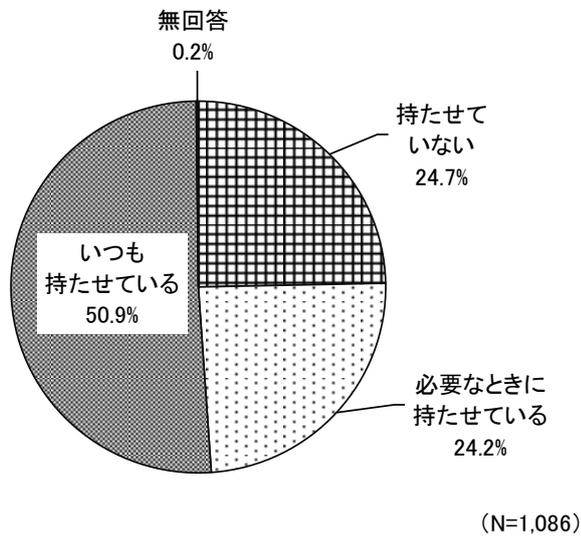
子どもと家族の会話での話題は、「学校での出来事や行事の話題」が80.8%で最も高く、次いで「友達の話」63.4%、「部活動や習い事の話」55.5%となっている。



(14) 子どもの携帯電話について

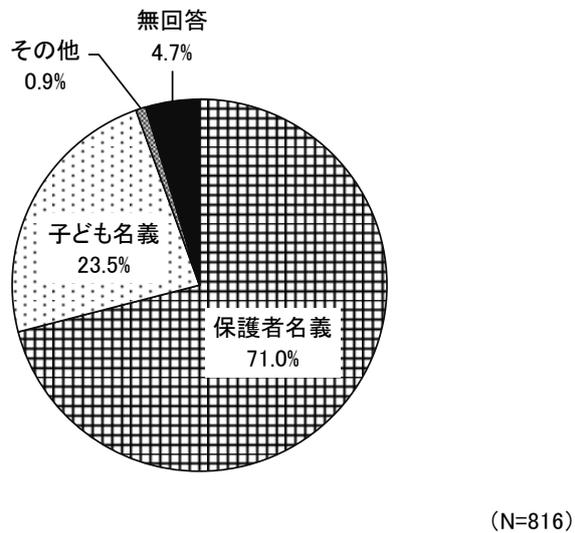
① 子どもに携帯電話を持たせているか（問9）

子どもに携帯電話を持たせているか尋ねたところ、「いつも持たせている」が50.9%で最も高く、次いで「持たせていない」24.7%、「必要なときに持たせている」24.2%となっている。



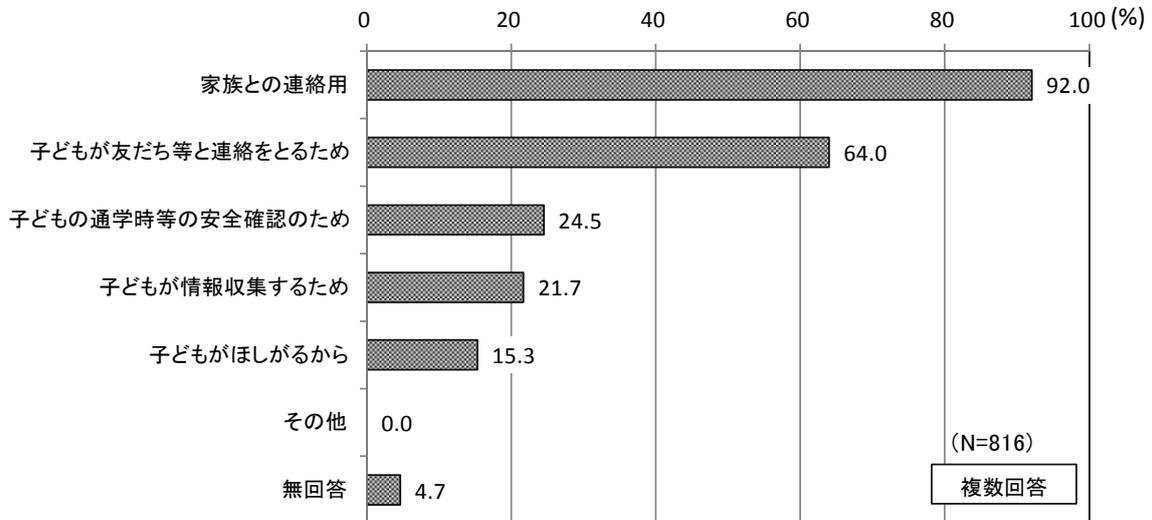
② 子どもに携帯電話の名義（問9-1）

子どもに携帯電話を持たせていると回答した人に携帯電話の名義を尋ねたところ、「保護者名義」が71.0%で最も高く、次いで「子ども名義」23.5%、「その他」0.9%となっている。



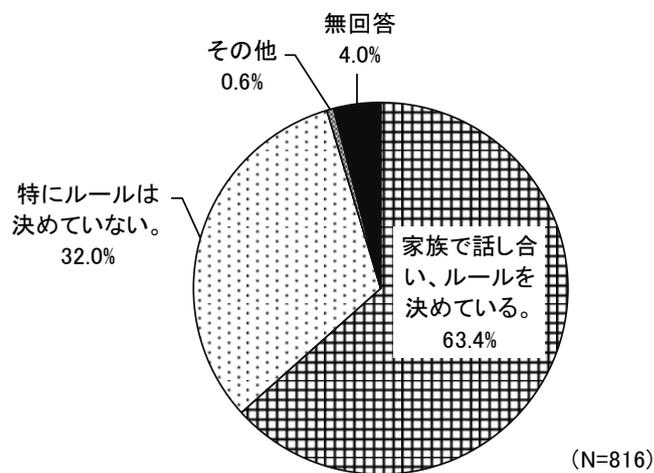
③ 子どもの携帯電話の用途（問 9-2）

子どもの携帯電話の用途について尋ねたところ、「家族との連絡用」が92.0%で最も高く、次いで「子どもが友だち等と連絡をとるため」64.0%、「子どもの通学時等の安全確認のため」24.5%となっている。



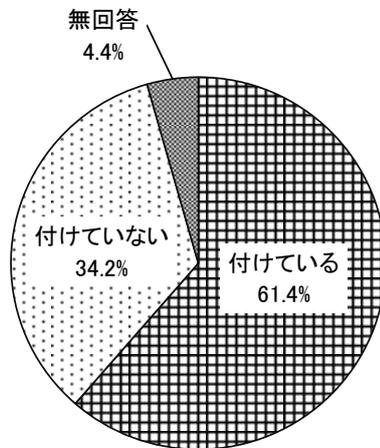
④ 子どもの携帯電話使用に関するルール（問 9-3）

子どもの携帯電話の使用に関するルールについて尋ねたところ、「家族で話し合い、ルールを決めている。」が63.4%で最も高く、次いで「特にルールは決めていない。」32.0%、「その他」0.6%となっている。



⑤ 子どもの携帯電話のフィルタリングサービスの有無（問 9-4）

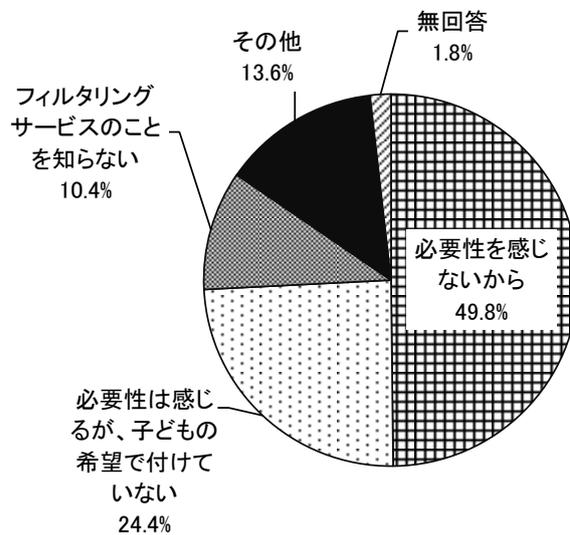
子どもの携帯電話にフィルタリングサービス（有害サイトへの接続を遮断する機能）を付けているか尋ねたところ、「付けている」が61.4%で最も高く、次いで「付けていない」34.2%となっている。



(N=816)

⑥ 子どもの携帯電話にフィルタリングサービスを付けていない理由（問 9-5）

子どもの携帯電話にフィルタリングサービスを付けていないと回答した人にその理由を尋ねたところ、「必要性を感じないから」が49.8%で最も高く、次いで「必要性は感じるが、子どもの希望で付けていない」24.4%、「フィルタリングサービスのことを知らない」10.4%となっている。



(N=279)

<携帯電話保有状況別・就寝時刻>

① 平日

平日の就寝時刻を携帯電話の所有状況別に見ると、午前0時台に就寝する子どもの割合が、携帯電話をいつも持っている子どもは34.0%であるのに対し、必要なときに持っている子どもは25.1%、持っていない子どもは15.7%となっている。反対に22時台に就寝する子どもの割合は、携帯電話をいつも持っている子どもは11.6%であるのに対し、必要なときに持っている子どもは22.8%、持っていない子どもは30.6%となっており、携帯電話を持っている子どもは、持っていない子どもに比べ就寝時刻が遅い傾向がある。

		サンプル数 (件)	0時台	1時台 ～ 2時台	3時台 ～ 6時台	6時台 ～ 12時台	13時台 ～ 18時台	19時台 ～ 20時台	21時台	22時台	23時台	無回答
全体		1,086	296	64	2	2	2	1	33	206	467	13
		-	27.3	5.9	0.2	0.2	0.2	0.1	3.0	19.0	43.0	1.2
携帯電話 保有別	持たせていない	268	15.7	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	30.6	47.4	0.4
	必要なときに持たせている	263	25.1	1.9	0.0	0.0	0.0	0.4	5.7	22.8	43.3	0.8
	いつも持たせている	553	34.0	9.9	0.4	0.4	0.4	0.0	0.9	11.6	40.7	1.8

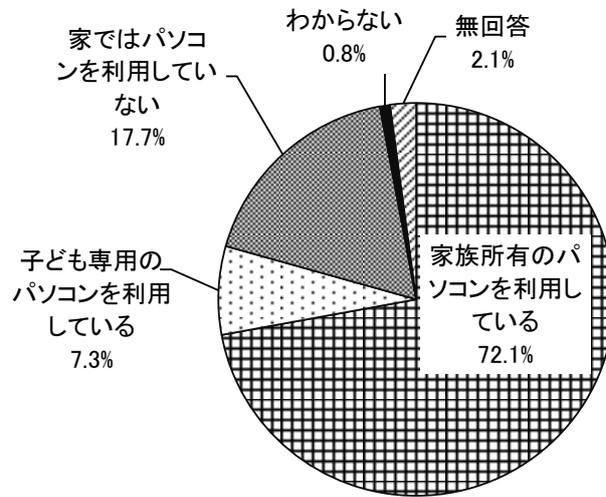
② 翌日に学校がない日

翌日に学校がない日の就寝時刻を携帯電話の所有状況別に見ると、午前0時台に就寝する子どもの割合が、携帯電話をいつも持っている子どもは44.5%であるのに対し、必要なときに持っている子どもは34.2%、持っていない子どもは27.6%となっている。反対に22時台に就寝する子どもの割合は、携帯電話をいつも持っている子どもは4.7%であるのに対し、必要なときに持っている子どもは15.2%、持っていない子どもは17.2%となっており、携帯電話を持っている子どもは、持っていない子どもに比べ就寝時刻が遅い傾向がある。

		サンプル数 (件)	0時台	1時台 ～ 2時台	3時台 ～ 6時台	6時台 ～ 12時台	13時台 ～ 18時台	19時台 ～ 20時台	21時台	22時台	23時台	無回答
全体		1,086	410	119	11	1	5	3	18	112	382	25
		-	37.8	11.0	1.0	0.1	0.5	0.3	1.7	10.3	35.2	2.3
携帯電話 保有別	持たせていない	268	27.6	3.4	0.4	0.0	0.4	0.0	3.4	17.2	46.6	1.1
	必要なときに持たせている	263	34.2	7.6	0.4	0.0	0.4	0.4	1.1	15.2	39.5	1.1
	いつも持たせている	553	44.5	16.3	1.6	0.2	0.5	0.4	0.9	4.7	27.5	3.4

(15) 子どものパソコン（インターネットに接続したもの）の利用状況（問 10）

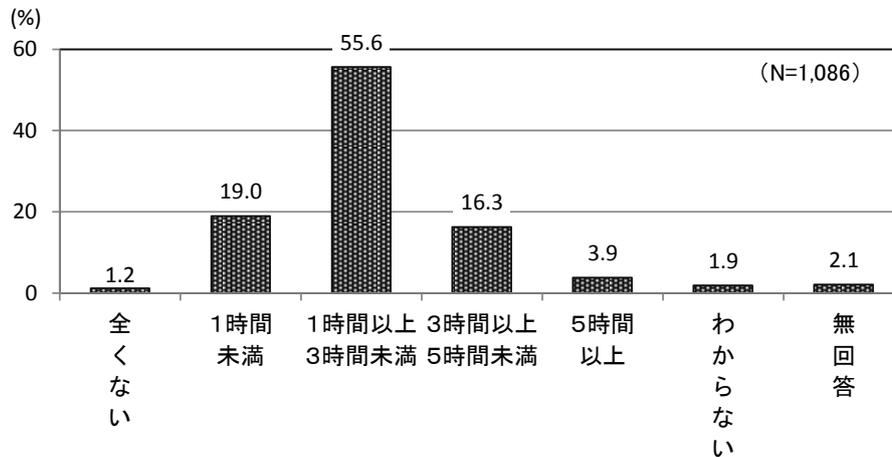
子どものパソコン（インターネットに接続したもの）の利用状況は、「家族所有のパソコンを利用している」が 72.1%で最も高く、次いで「家ではパソコンを利用していない」17.7%、「子ども専用のパソコンを利用している」7.3%となっている。



(N=1,086)

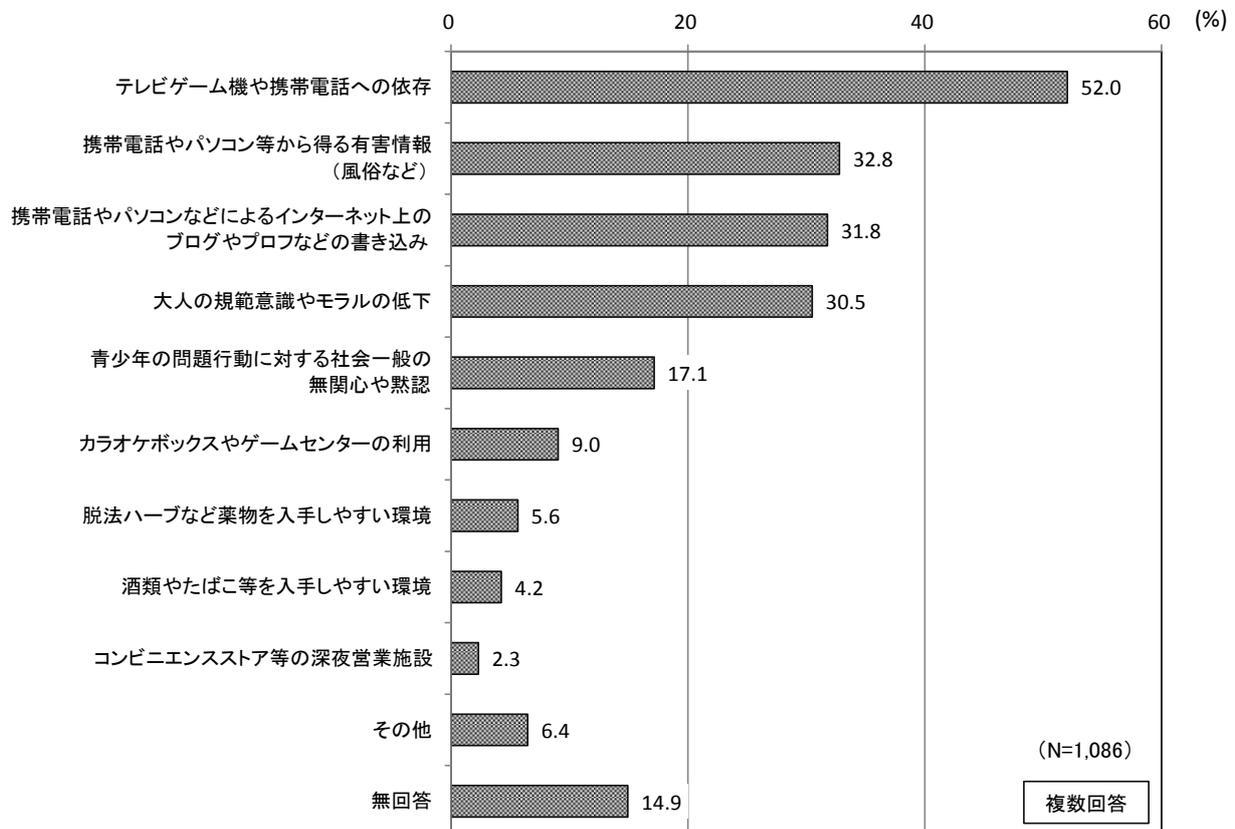
(16) 子どもがパソコン・携帯電話・テレビゲーム・テレビを利用する時間（問 11）

子どもが1日にパソコンや携帯電話、テレビゲームを使用したり、テレビを見たりする時間は合計で、「1時間以上3時間未満」が55.6%で最も高く、次いで「1時間未満」19.0%、「3時間以上5時間未満」16.3%となっている。



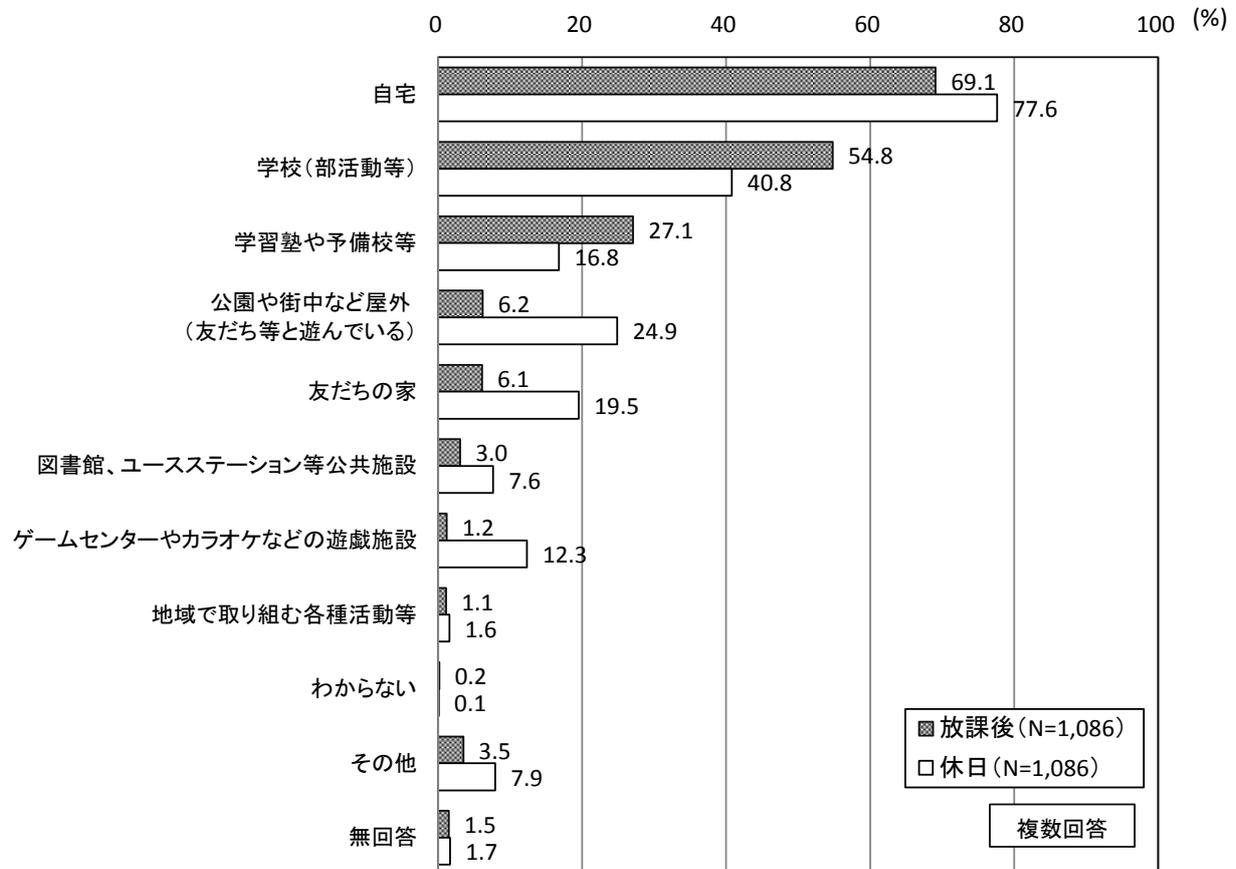
(17) 子どもの生活上で気になること（問 12）

子どもの生活上で気になることは、「テレビゲーム機や携帯電話への依存」が52.0%で最も高く、次いで「携帯電話やパソコン等から得る有害情報（風俗など）」32.8%、「携帯電話やパソコンなどによるインターネット上のブログやプロフなどの書き込み」31.8%となっている。一方で、「大人の規範意識やモラルの低下」は30.5%となっている。



(18) 子どもが放課後等で過ごすことが多い場所（問13）

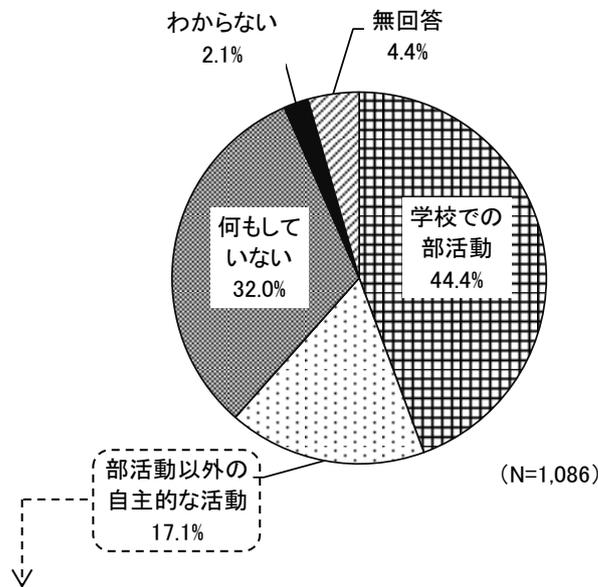
放課後（平日）は、「自宅」が69.1%で最も高く、次いで「学校（部活動等）」54.8%、「学習塾や予備校等」27.1%となっている。休日は、「自宅」が77.6%で最も高く、次いで「学校（部活動等）」40.8%、「公園や街中など屋外（友だち等と遊んでいる）」24.9%、「友だちの家」19.5%となっている。



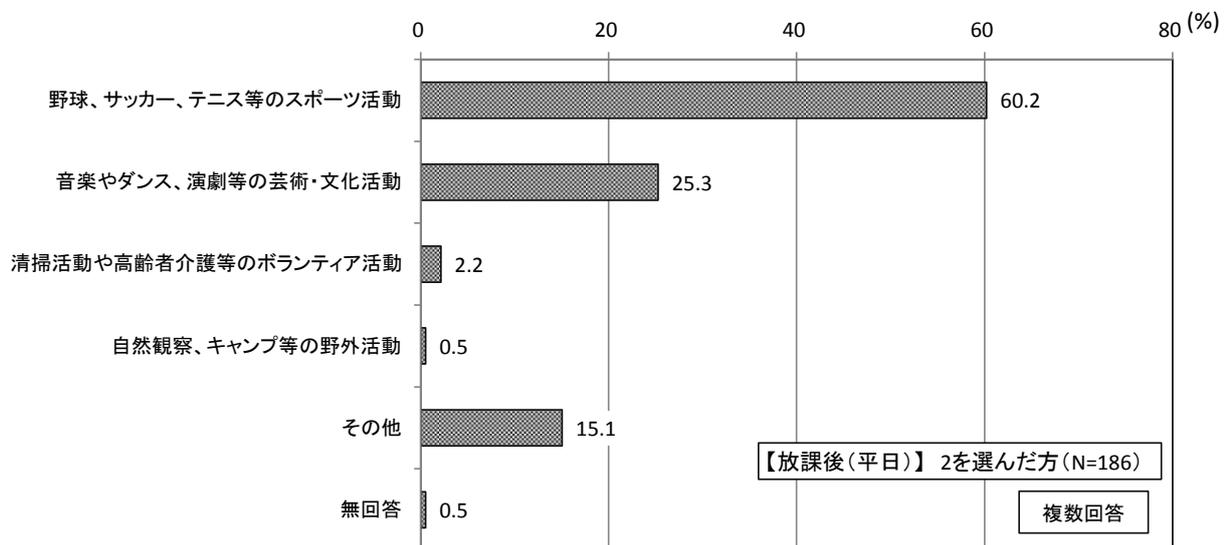
(19) 子どもの放課後や休日の活動（問 14）

① 放課後

放課後（平日）は、「学校での部活動」が 44.4%で最も高く、次いで「何もしていない」32.0%、「部活動以外の自主的な活動」17.1%となっている。

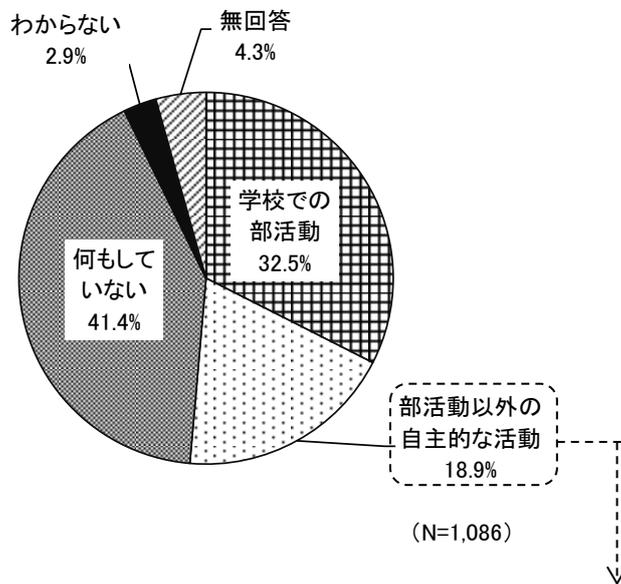


部活動以外の自主的な活動は、「野球、サッカー、テニス等のスポーツ活動」が 60.2%で最も高く、次いで「音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動」25.3%、「その他」15.1%となっている。

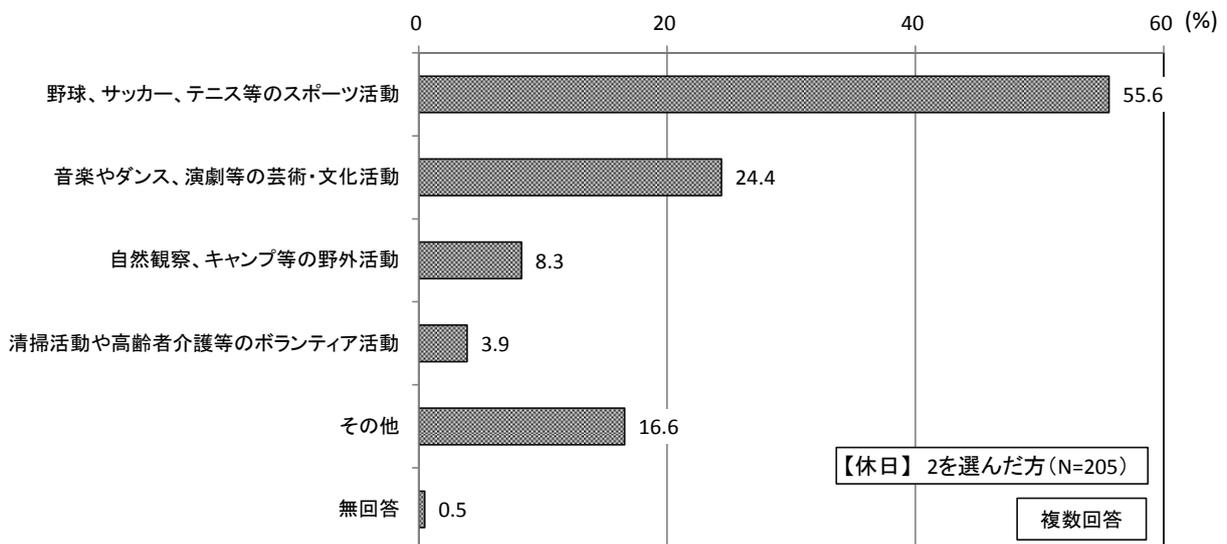


② 休日

休日は、「何もしていない」が41.4%で最も高く、次いで「学校での部活動」32.5%、「部活動以外の自主的な活動」18.9%となっている。



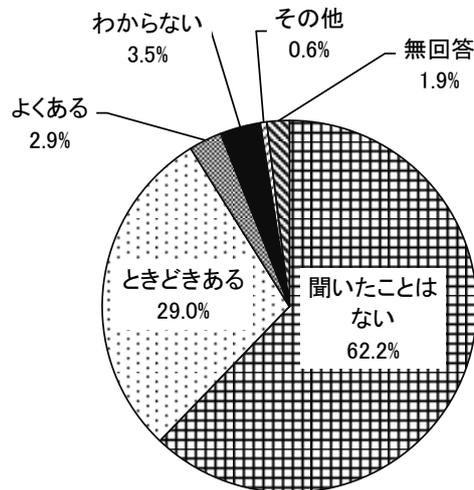
部活動以外の自主的な活動は、「野球、サッカー、テニス等のスポーツ活動」が55.6%で最も高く、次いで「音楽やダンス、演劇等の芸術・文化活動」24.4%、「その他」16.6%となっている。



3. 学校生活について

(20) 学校でのいじめや暴力行為の有無（問 15）

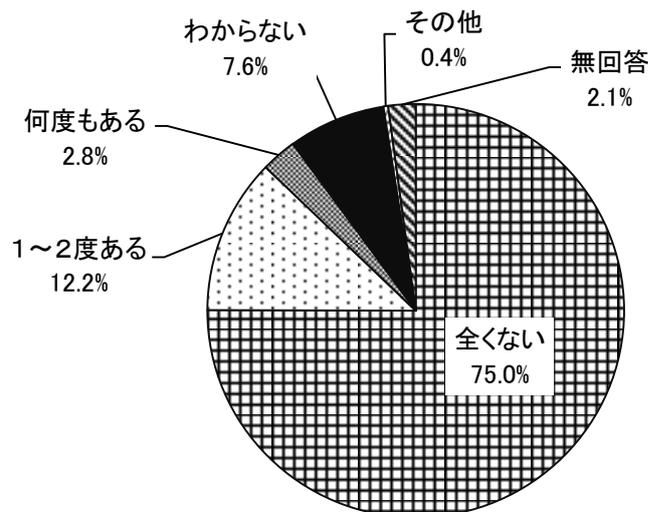
過去1年間に学校でのいじめや暴力行為等の話を聞いたことがあるか尋ねたところ、「聞いたことはない」が62.2%で最も高く、次いで「ときどきある」29.0%、「よくある」2.9%となっており、いじめや暴力行為を聞いたことがあると回答した人は31.9%となっている。



(N=1,086)

(21) 学校でいじめや暴力行為に巻き込まれた経験（問 16）

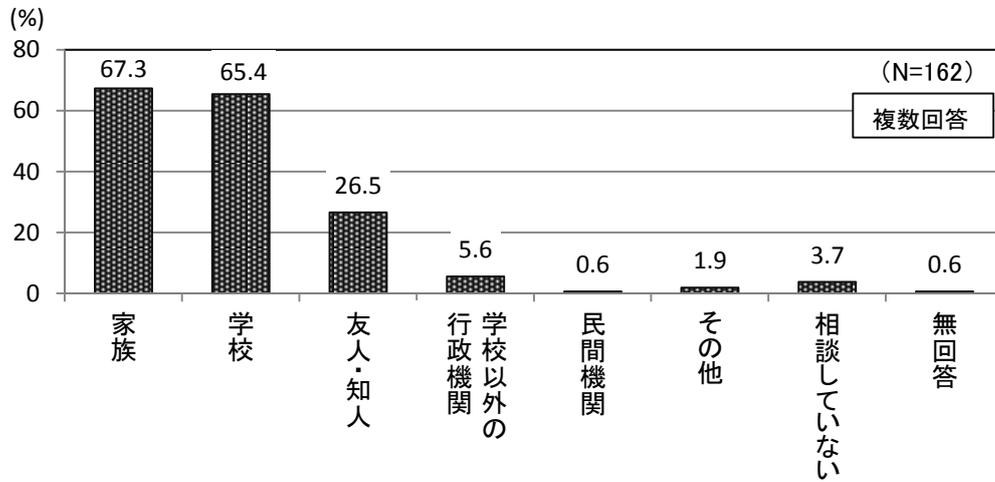
子どもが過去1年間に、学校でいじめや暴力行為等に巻き込まれたことがあるか尋ねたところ、学校でいじめや暴力行為に巻き込まれた経験は、「全くない」が75.0%で最も高く、次いで「1～2度ある」12.2%、「何度もある」2.8%となっている。



(N=1,086)

(22) 学校でいじめや暴力行為に巻き込まれた時の相談先（問 16-1）

学校でいじめや暴力行為に巻き込まれた時の相談先は、「家族」が 67.3%で最も高く、次いで「学校」65.4%、「友人・知人」26.5%となっている。

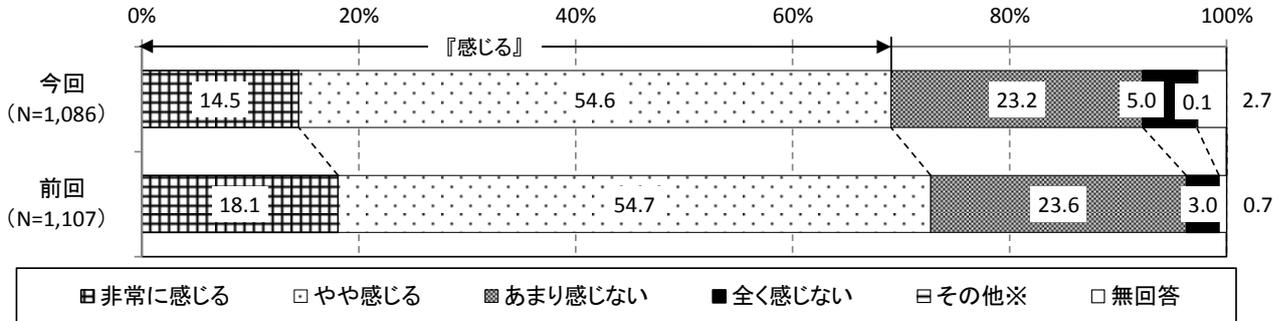


4. 子育てに関する悩みや不安について

(23) 子育てに関する悩みや不安の有無（問 17）

悩みや不安を「非常に感じる」と「やや感じる」を合わせた『感じる』の比率は 69.1%で、「あまり感じない」と「全く感じない」では 28.2%となっている。

前回調査（平成 21 年）と比較すると、悩みや不安を『感じる』は 3.7 ポイント減っている。

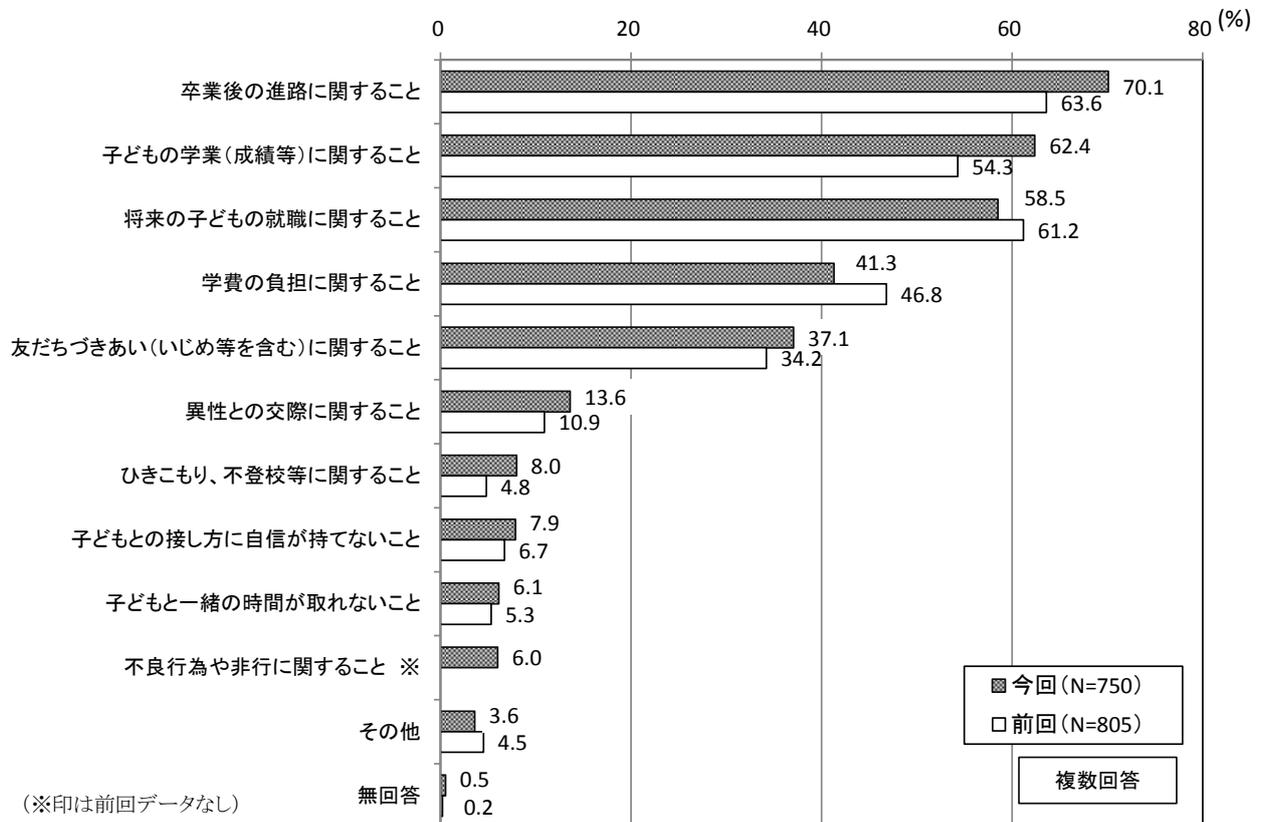


(※印は前回データなし)

(24) 子育てに関して、日常悩んでいることや気になること（問 17-1）

子育てに関して悩んでいることは、「卒業後の進路に関すること」が 70.1%で最も高く、次いで「子どもの学業（成績等）に関すること」62.4%、「将来の子どもの就職に関すること」58.5%となっている。

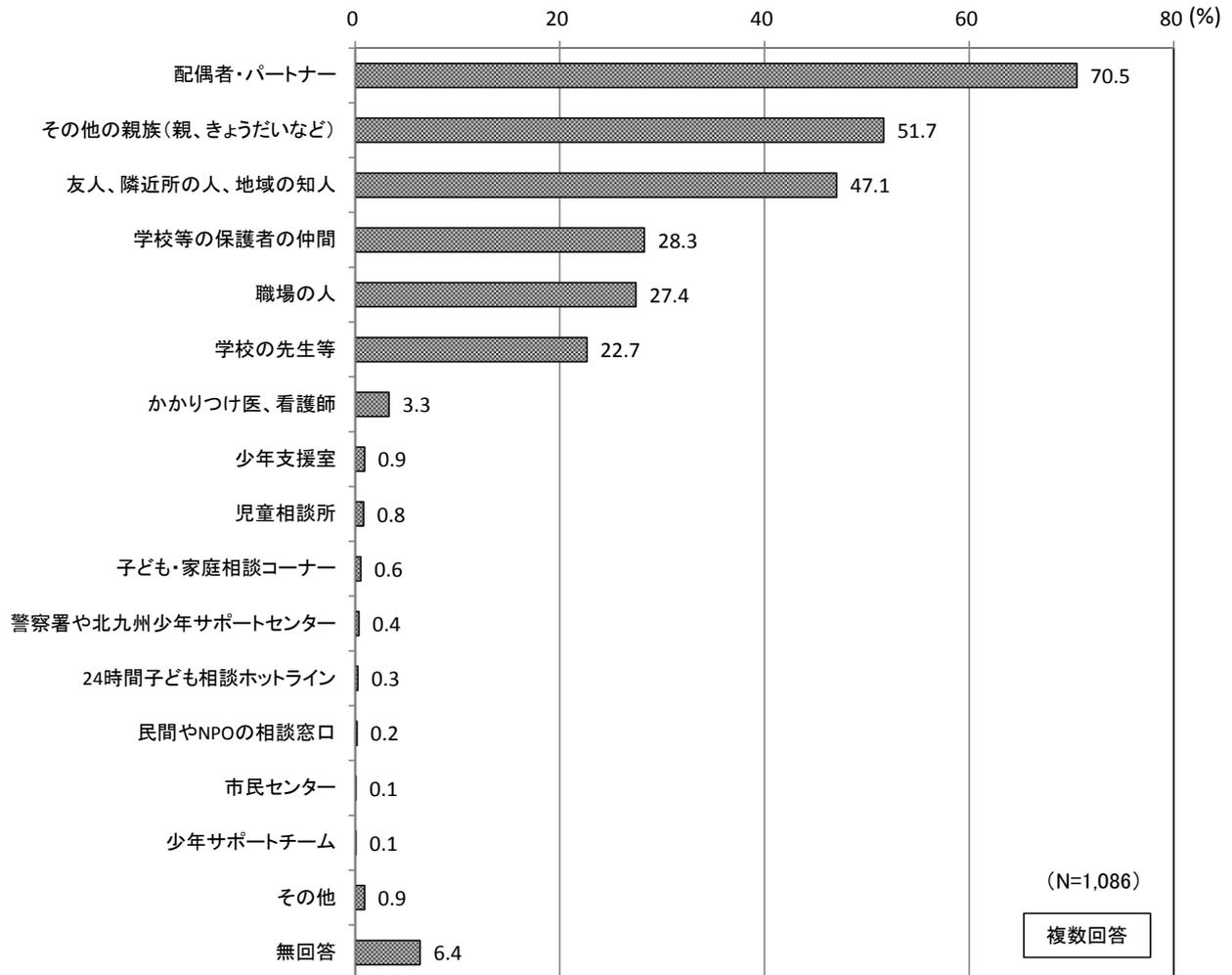
前回調査（平成 21 年）と比較すると、「子どもの学業（成績等）に関すること」や「卒業後の進路に関すること」で特にポイントが増えている。



(※印は前回データなし)

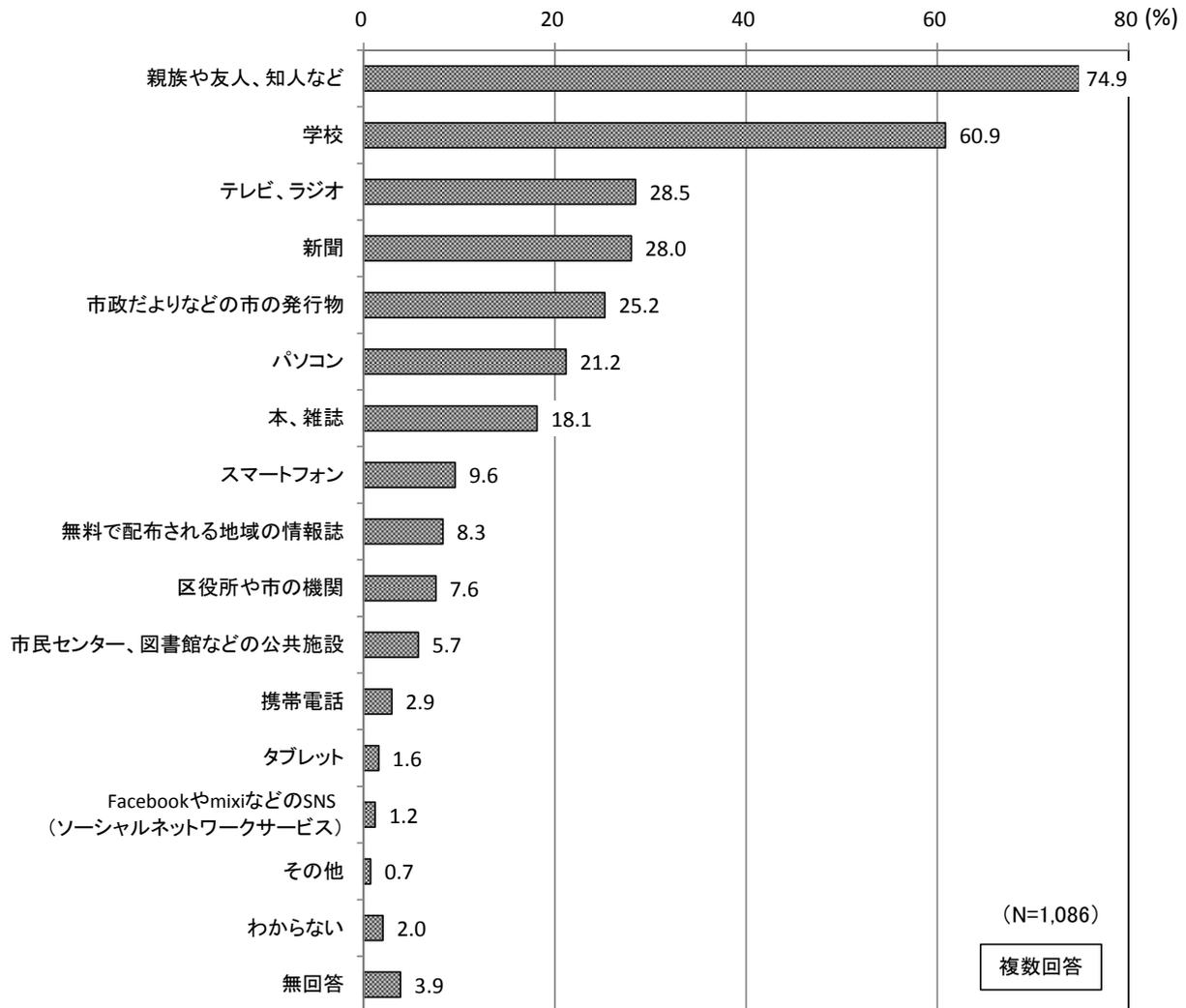
(25) 子育てに関する悩みや不安を相談する先（問 18）

子育てに関する悩みや不安を相談する先は、「配偶者・パートナー」が70.5%で最も高く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」51.7%、「友人、隣近所の人、地域の知人」47.1%となっている。



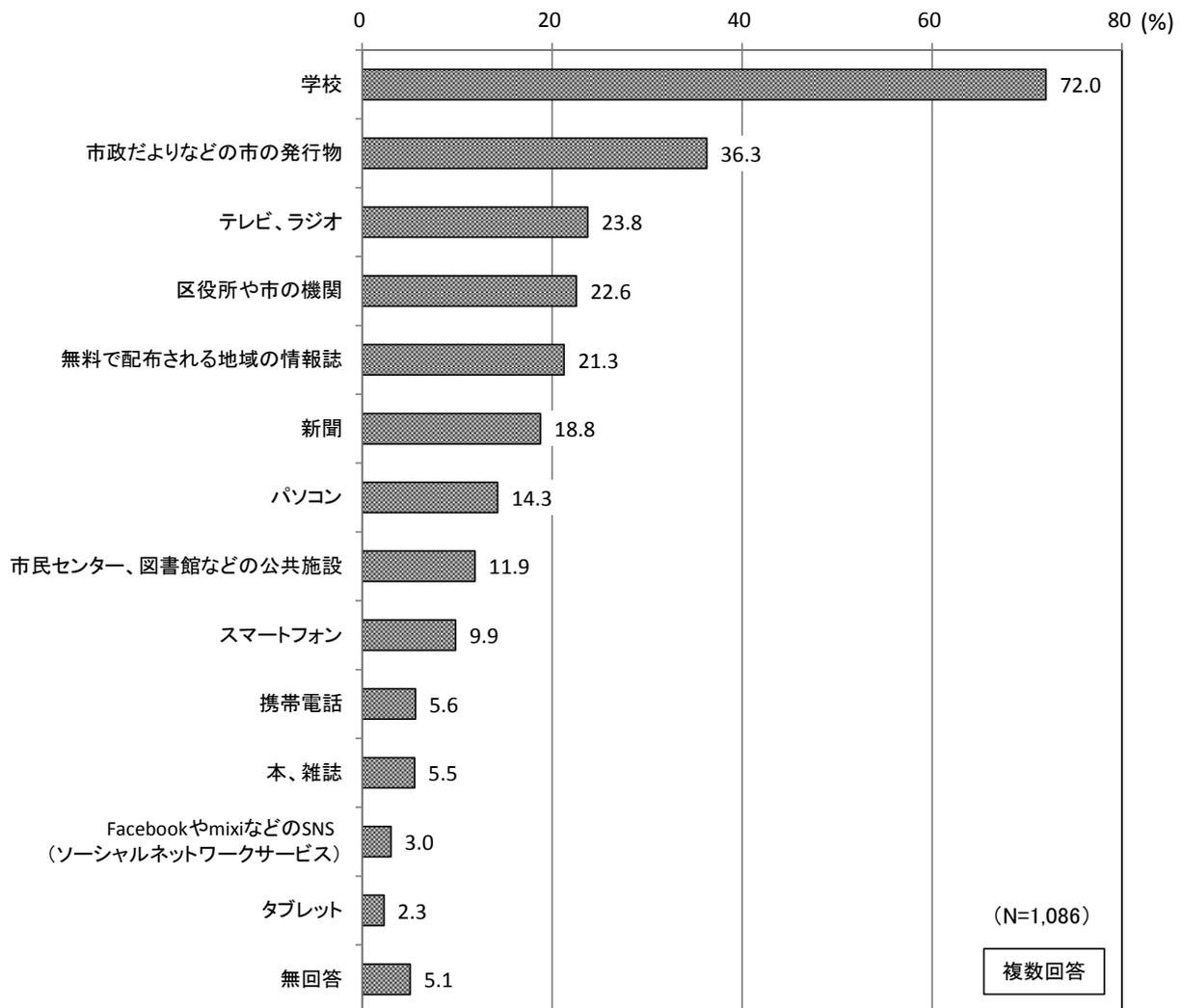
(26) 子育てに関する情報の入手先 (問 19)

情報の入手先は、「親族や友人、知人など」が 74.9%で最も高く、次いで「学校」60.9%、「テレビ、ラジオ」28.5%、「新聞」28.0%、「市政だよりなどの市の発行物」25.2%となっている。



(27) より力を入れてほしい行政の子育てに関する情報発信の手段（場所）（問 20）

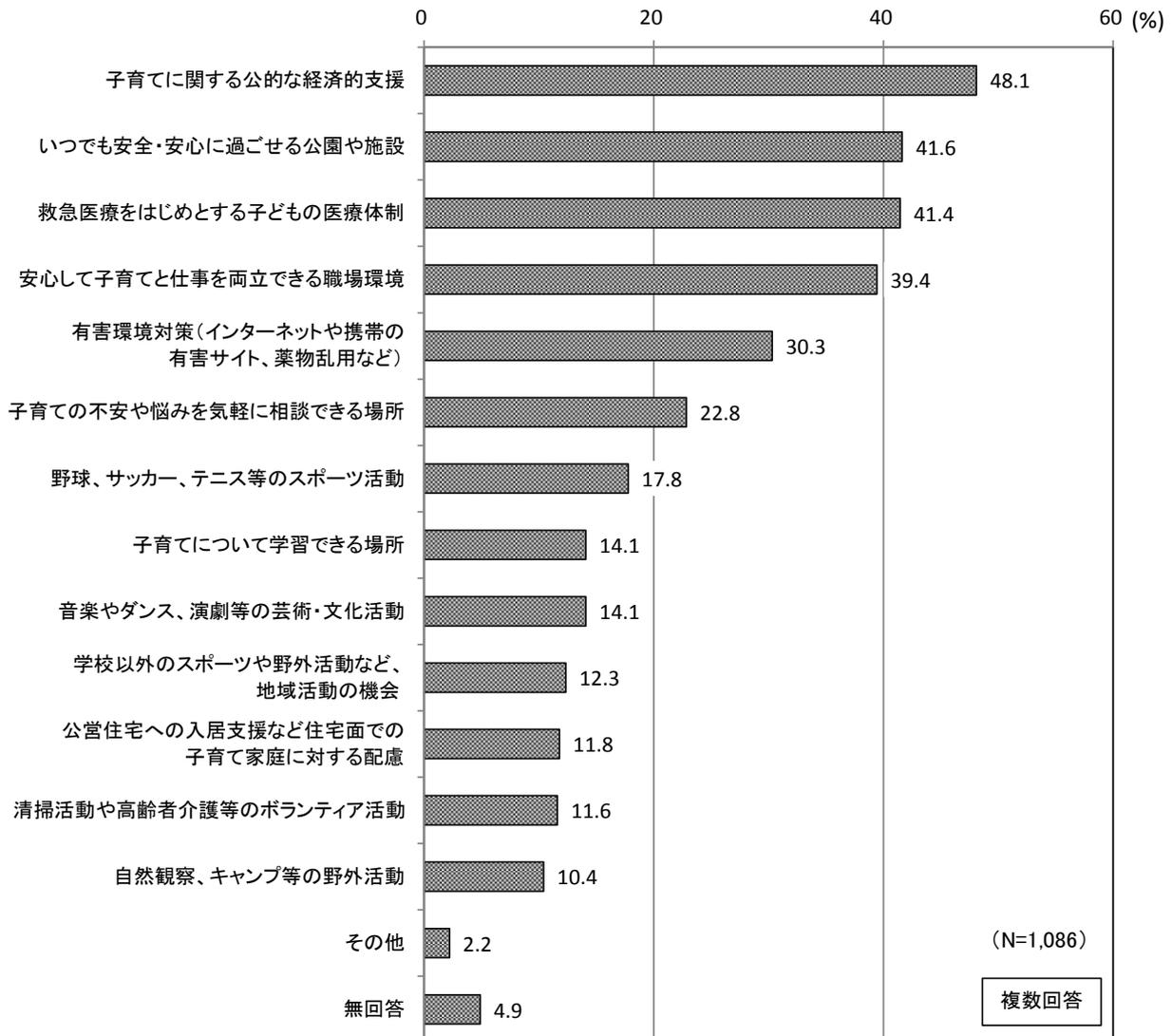
より力を入れてほしい情報発信の手段（場所）は、「学校」が 72.0%で最も高く、次いで「市政だよりなどの市の発行物」36.3%、「テレビ、ラジオ」23.8%、「区役所や市の機関」22.6%、「無料で配布される地域の情報誌」21.3%となっている。



5. 今後の北九州市の子育て支援

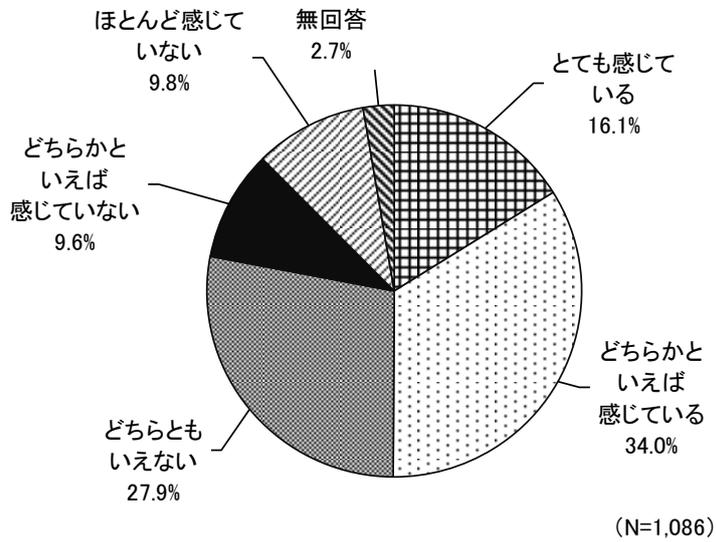
(28) より力を入れてほしい子育て支援策（問 21）

より力を入れてほしい子育て支援策は、「子育てに関する公的な経済的支援」が 48.1%で最も高く、次いで「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」41.6%、「救急医療をはじめとする子どもの医療体制」41.4%、「安心して子育てと仕事を両立できる職場環境」39.4%、「有害環境対策（インターネットや携帯の有害サイト、薬物乱用など）」30.3%となっている。



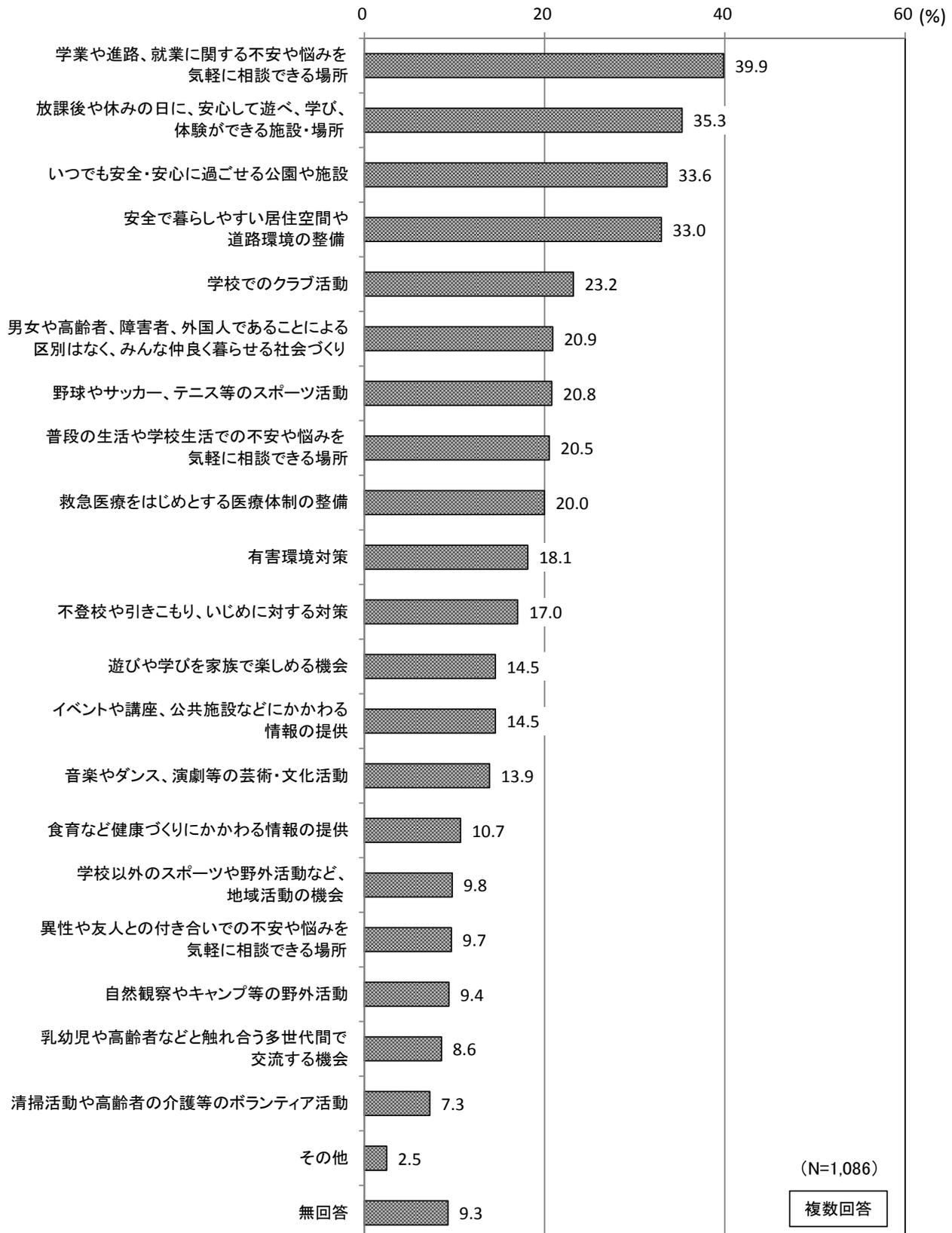
(29) 子育てが地域の人に支えられていると感じるか (問 22)

子育てが地域の人に支えられていると感じるかについて尋ねたところ、「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせた比率は 50.1%で、「どちらかといえば感じていない」と「ほとんど感じていない」を合わせた比率では 19.4%となっている。「どちらともいえない」は 27.9%となっている。



(30) 中学・高校生が希望する子育て支援策（問 23）

中学・高校生が希望する子育て支援策は、「学業や進路、就業に関する不安や悩みを気軽に相談できる場所」が 39.9%で最も高く、次いで「放課後や休みの日に、安心して遊べ、学び、体験ができる施設・場所」35.3%、「いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設」33.6%、「安全で暮らしやすい居住空間や道路環境の整備」33.0%、「学校でのクラブ活動」23.2%となっている。

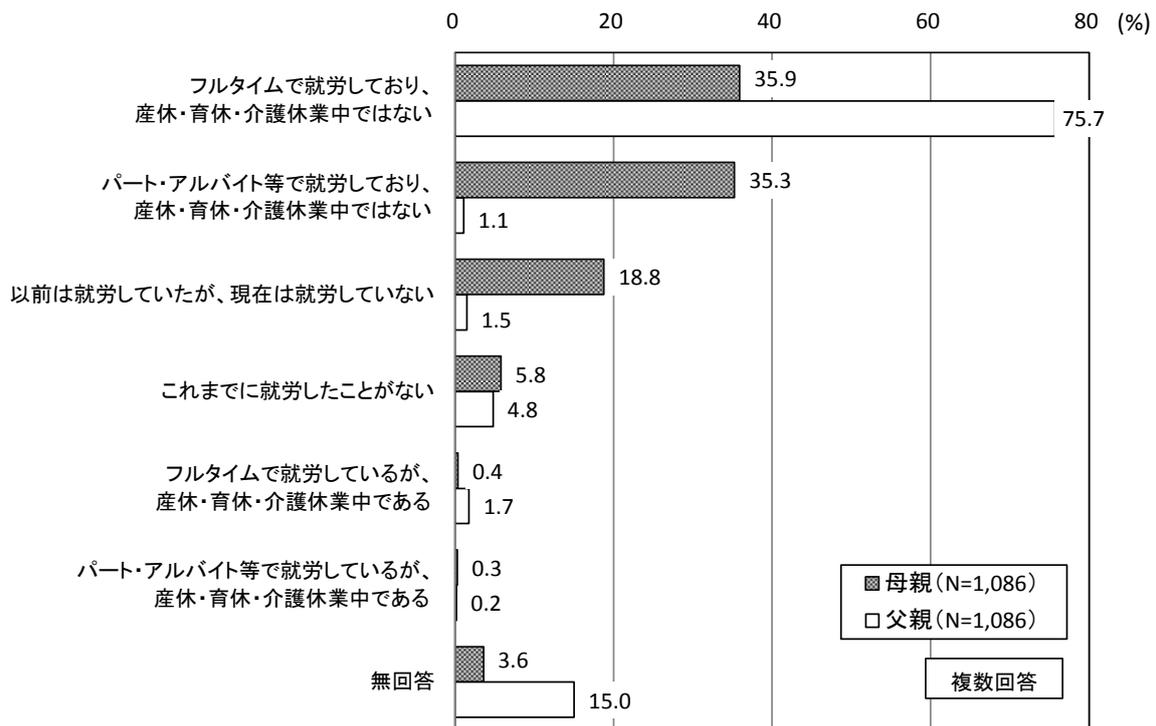


6. 子どもの保護者の就労状況

(31) 現在の就労状況（問 24(1)、問 24(2)）

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 35.9%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」35.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」18.8%となっている。

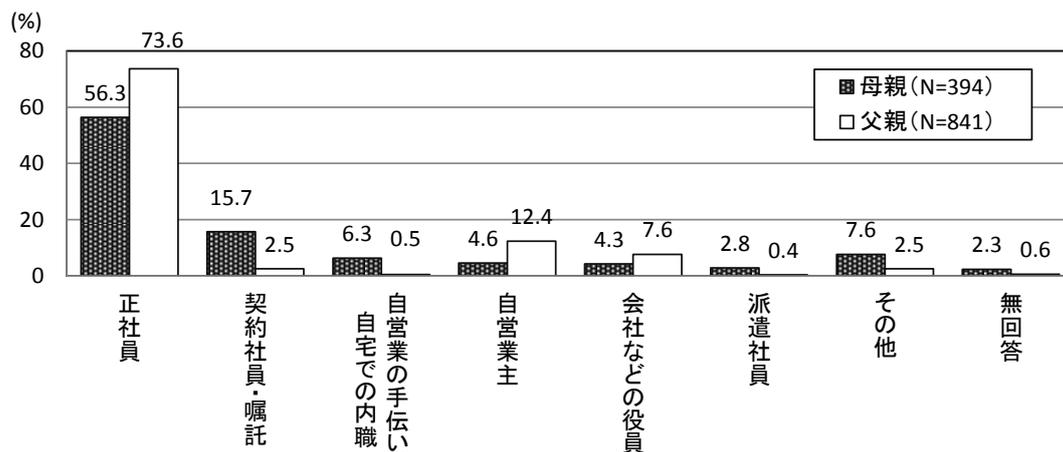
父親は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 75.7%で最も高く、次いで「これまでに就労したことがない」4.8%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」1.7%となっている。



(32) 現在の就労形態（問 24(1)-1、問 24(2)-1）

母親の就労形態は、「正社員」が 56.3%で最も高く、次いで「契約社員・嘱託」15.7%、「その他」7.6%となっている。

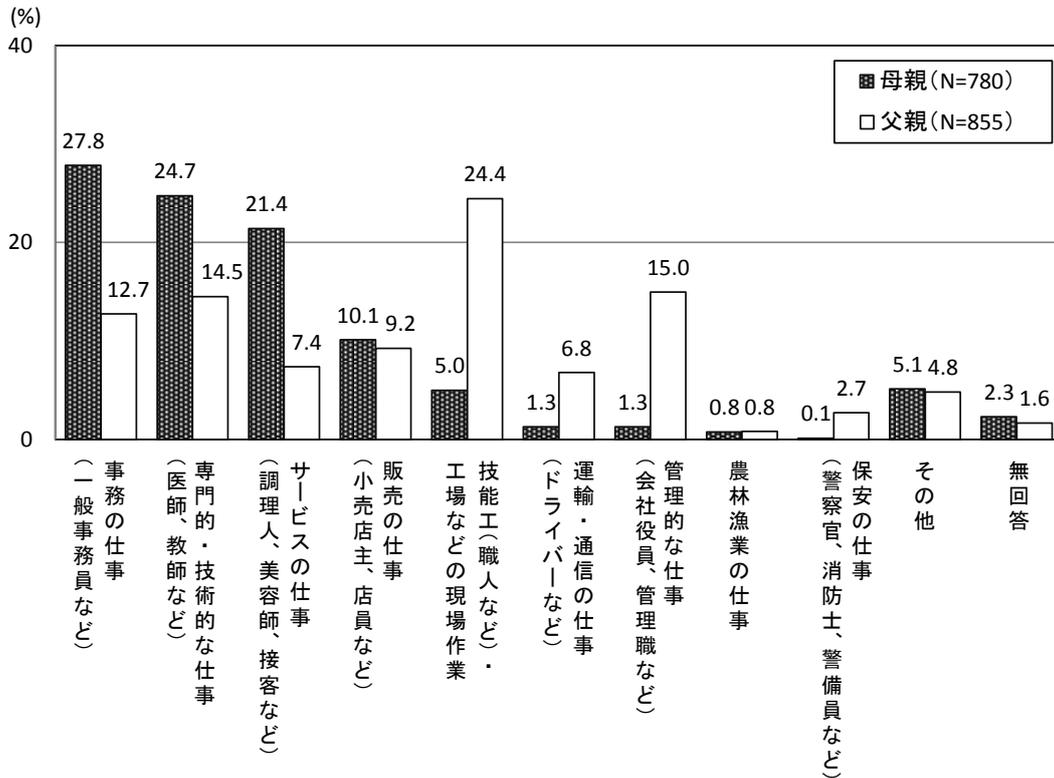
父親は、「正社員」が 73.6%で最も高く、次いで「自営業主」12.4%、「会社などの役員」7.6%となっている。



(33) 現在の就労先での職種 (問 24(1)-2、問 24(2)-2)

母親の就労先での職種は、「事務の仕事（一般事務員など）」が 27.8%で最も高く、次いで「専門的・技術的な仕事（医師、教師など）」24.7%、「サービスの仕事（調理人、美容師、接客など）」21.4%となっている。

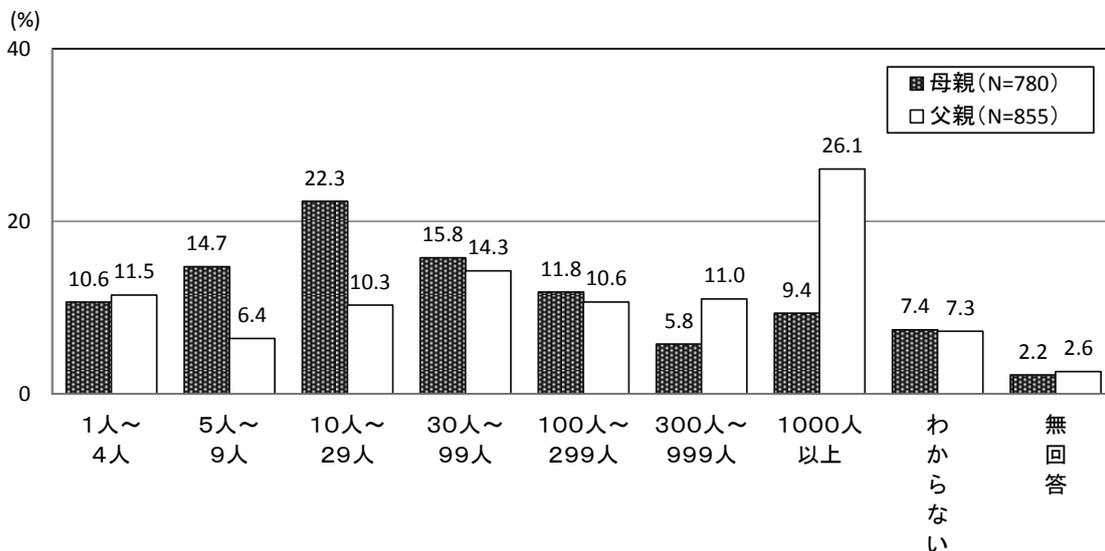
父親は、「技能工（職人など）・工場などの現場作業」が 24.4%で最も高く、次いで「管理的な仕事（会社役員、管理職など）」15.0%、「専門的・技術的な仕事（医師、教師など）」14.5%となっている。



(34) 現在の就労先の従業員規模 (問 24(1)-3、問 24(2)-3)

母親の就労先の従業員規模は、「10人～29人」が 22.3%で最も高く、次いで「30人～99人」15.8%、「5人～9人」14.7%となっている。

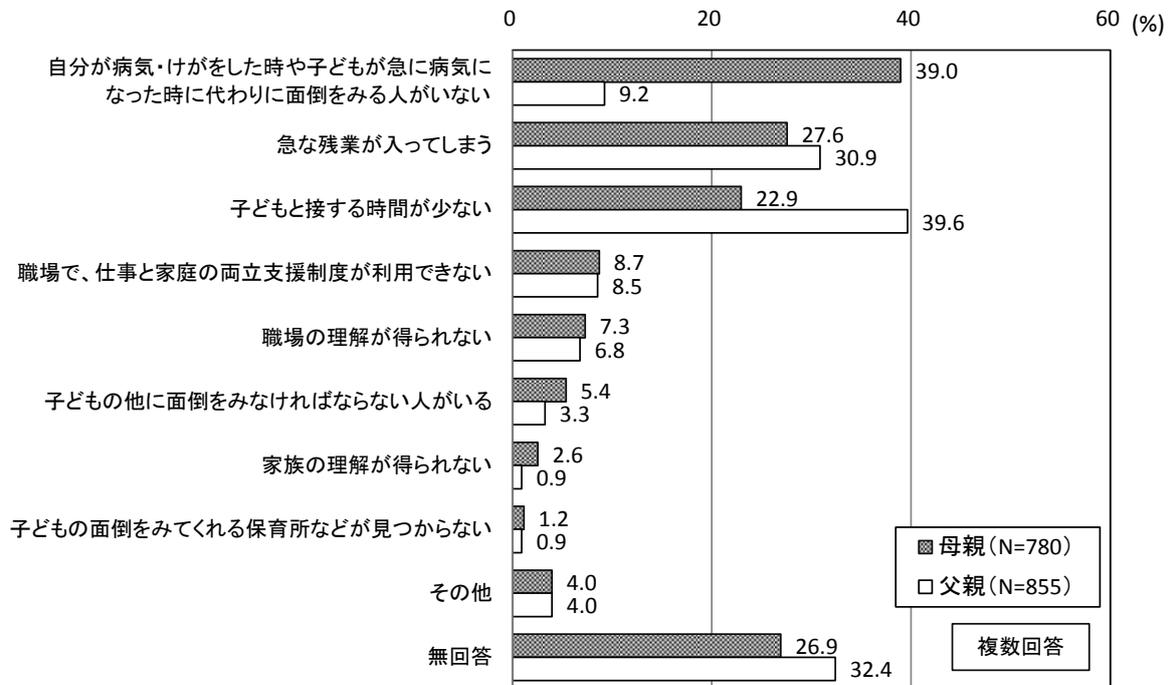
父親は、「1000人以上」が 26.1%で最も高く、次いで「30人～99人」14.3%、「1人～4人」11.5%となっている。



(35) 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じること (問 24(1)-4、問 24(2)-4)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることについて尋ねたところ、母親は、「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」が 39.0%で最も高く、次いで「急な残業が入ってしまう」27.6%、「子どもと接する時間が少ない」22.9%となっている。

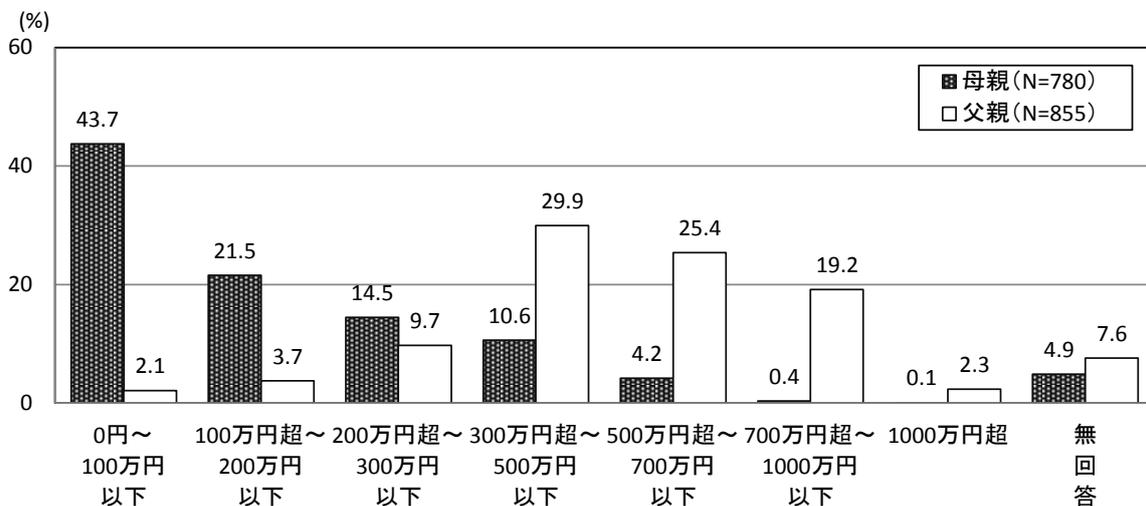
父親は、「子どもと接する時間が少ない」が 39.6%で最も高く、次いで「急な残業が入ってしまう」30.9%、「自分が病気・けがをした時や子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみる人がいない」9.2%となっている。



(36) 保護者の年収 (問 24(1)-5、問 24(2)-5)

母親の年収は、「0円～100万円以下」が 43.7%で最も高く、次いで「100万円超～200万円以下」21.5%、「200万円超～300万円以下」14.5%となっている。

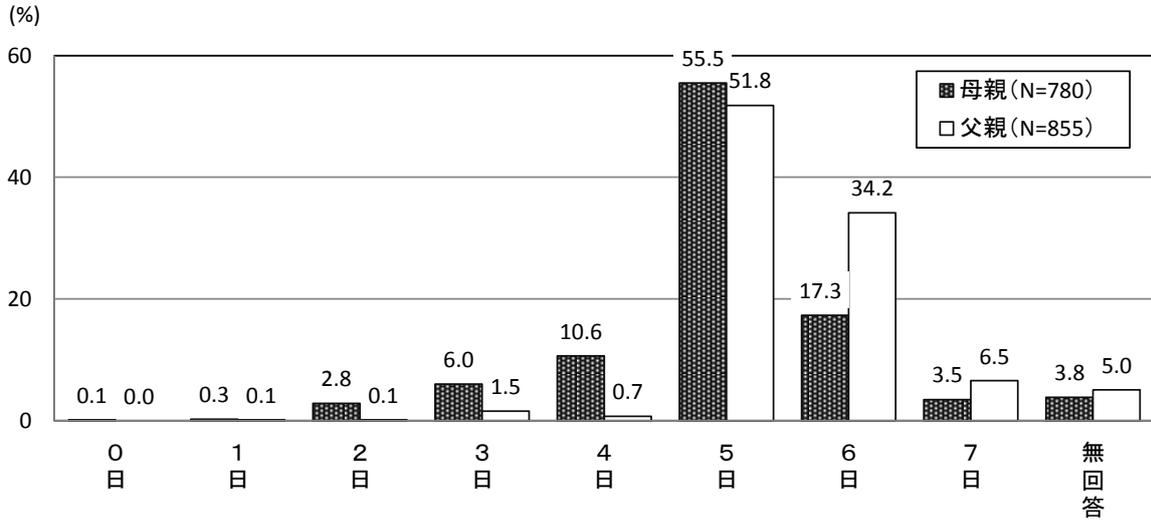
父親は、「300万円超～500万円以下」が 29.9%で最も高く、次いで「500万円超～700万円以下」25.4%、「700万円超～1000万円以下」19.2%となっている。



(37) 保護者の1週当たりの就労日数（問 24(1)-6、問 24(2)-6）

母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が55.5%で最も高く、次いで「6日」17.3%、「4日」10.6%となっている。

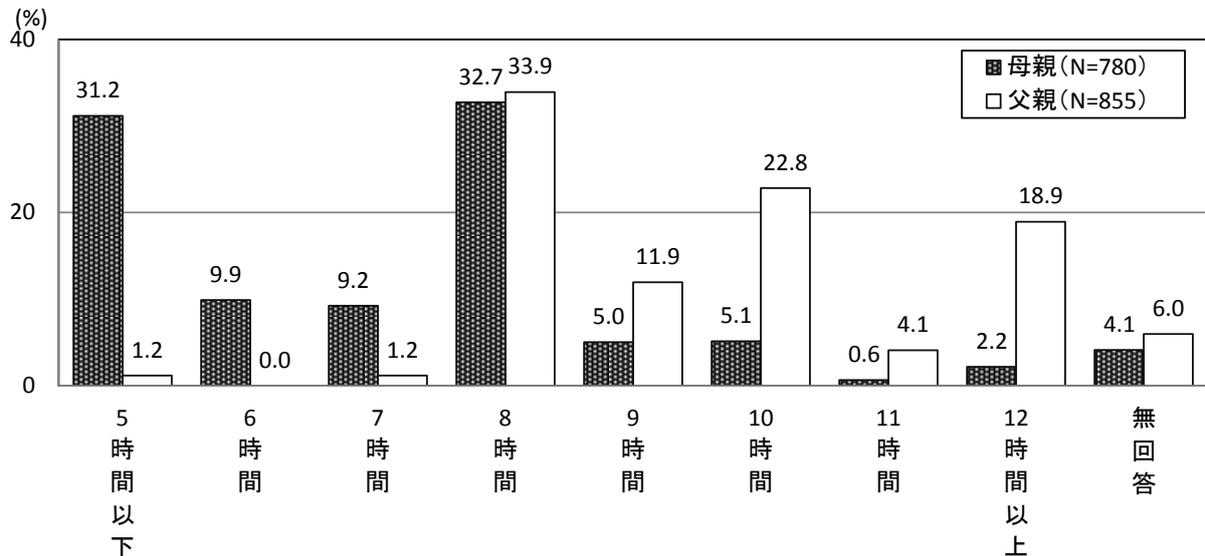
父親は、「5日」が51.8%で最も高く、次いで「6日」34.2%、「7日」6.5%となっている。



(38) 保護者の1日当たりの就労時間（残業時間を含む）（問 24(1)-6、問 24(2)-6）

母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が32.7%で最も高く、次いで「5時間以下」31.2%、「6時間」9.9%となっている。

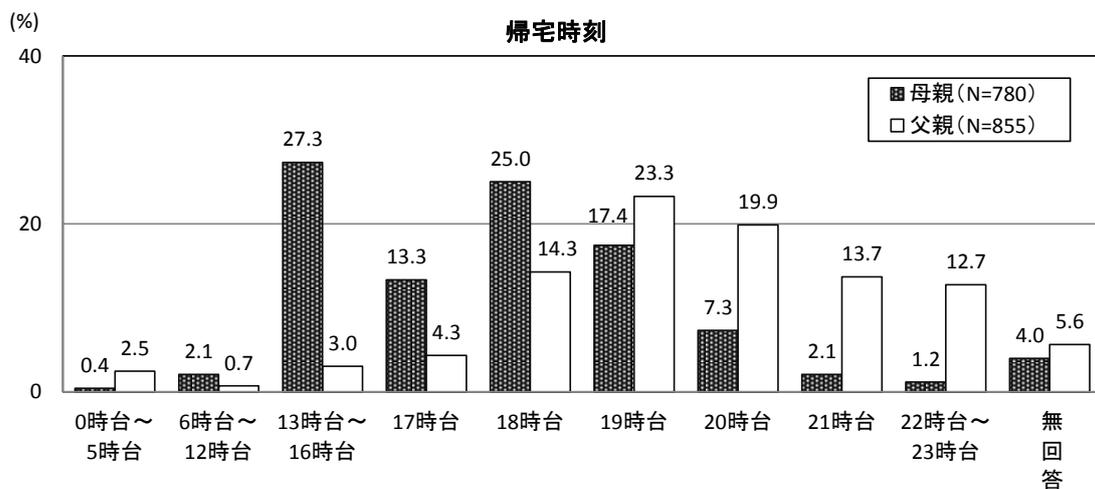
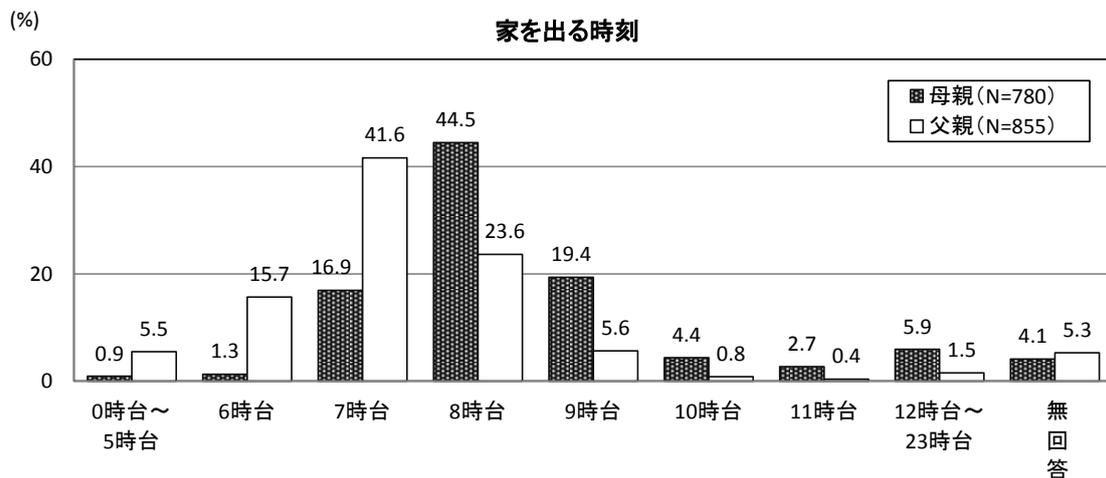
父親は、「8時間」が33.9%で最も高く、次いで「10時間」22.8%、「12時間以上」18.9%となっている。



(39) 保護者の家を出る時刻と帰宅時刻（問 24(1)-7、問 24(2)-7）

母親が家を出る時刻は、「8時台」が44.5%で最も高く、次いで「9時台」19.4%、「7時台」16.9%となっている。帰宅時刻は、「13時台～16時台」が27.3%で最も高く、次いで「18時台」25.0%、「19時台」17.4%となっている。

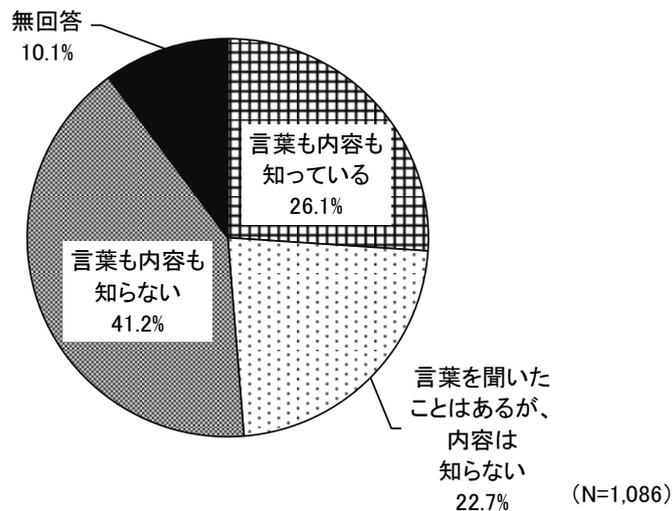
父親が家を出る時刻は、「7時台」が41.6%で最も高く、次いで「8時台」23.6%、「6時台」15.7%となっている。帰宅時刻は、「19時台」が23.3%で最も高く、次いで「20時台」19.9%、「18時台」14.3%となっている。



7. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

(40) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度（問 25）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度を尋ねたところ、「言葉も内容も知っている」と「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた比率は、48.8%でほぼ半数に達している。一方、「言葉も内容も知らない」は41.2%となっている。



(41) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況（問 26）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況について尋ねたところ、「調和がとれている」と「どちらかという調和がとれている」を合わせた比率は44.8%であった。これに対して、「どちらかという調和がとれていない」と「調和がとれていない」を合わせた比率は、32.3%となっている。

